

総括審査でコロナ問題と女性活躍推進について迫る！

新型コロナウイルス感染拡大の防止と経済活動の正常化のためには、ワクチン接種のスピードを上げていくことが肝要です。今後も県や国に強く働きかけ、一日も早く全県民にワクチン接種が行き渡るよう、しっかり取り組んでまいります！



Q. 新型コロナウイルスワクチン接種の早期完了について

ワクチン接種の早期実施・完了は、すべての県民の願い。しかし、ワクチンの供給についての混乱が盛んに報じられているほか、6月末時点で本県の高齢者接種率(2回目)が全国46位というデータもある。こうした事態について、県の認識を伺う。

知事 大臣方の発言を見る限り、国には現場の状況が見えないのでと感じる。自治体の努力で1回目の接種を早く行つても、2回目のワクチンが届かない状態では手の打ちようがない。今後、国には地方におけるワクチンの需要と供給量の整合性をとった上で、プランニングを行うことを強く提言していく。

健康福祉部長 各市町村では計画見直し後、比較的早いペースで接種が進んでいる。7月6日現在、1回目、2回目を合わせると土日で約10,000人、平日で約6,000～7,000人程がワクチン接種を受けている。1回目の接種率も直近では全国42位まで上がっており、今後さらにこのスピードが加速されるものと期待している。

Q. 中小企業、小規模事業者の職域ワクチン接種について

県内の事業者の99%以上が中小企業である。中小企業、小規模事業者の方々から、「職域のワクチン接種に参加したい」といった声が挙がっている。県産業・経済を支える人々のワクチン接種を早めることは、コロナ禍による不況からの早期脱却を図るためにも重要と考えるが、職域接種について県の方針、状況を伺う。

皆様からの、意見、要望、陳情、要請などは

自由民主党秋田県南秋田郡第一支部 支部長 鈴木真実

〒018-1513 南秋田郡井川町黒坪字小泉36

TEL・FAX 018-874-2112

E-mail : suzuki-mami@cd.wakwak.com

Facebookはこちら▶

知事 職域接種の拡大については、ワクチンの手配と打ち探しに非常に苦労している。打ち手については県医師会が県歯科医師会へ協力を求める考えを明らかにしているが、ワクチンの供給量が不足しているため計画が進まない。そのため現在、国には全国知事会を通し、ワクチン供給の見通しを早急に示すよう強く要望している。

健康福祉部長 人口の少ないエリアにおいて、会場や接種に従事する人員の確保に苦労している。そのような地域で職域接種を円滑に進めていくためには、近隣の市町村が連携し、会場や人材などを共有することが有効策になる。今後、接種の規模を拡大していく必要性が生じた場合には、「地域の垣根を越えた共同接種」を推進していく。

Q. 本県の管理的職業に従事する女性の割合が全国44位について

7月1日に秋田県初の女性理事陶山さなえ氏が就任した。県内の女性活躍推進を期待し、エールを送りたい。秋田県男女共同参画推進条例の制定から20年近く経つが、本県の管理的職業に従事する女性の割合は全国的に見て低い。多様性が一層求められ、女性の活躍が重要視されている現在、県はどのように巻き返していくつもりなのか、考え方をお聞かせ願いたい。

あきた未来創造部長 女性の活躍推進に向けた行動計画を策定する企業は増えているものの、それが女性の管理職登用に結びついていないことについては認識している。今後は企業内における女性活躍推進のレベルアップが図られるよう、県としても企業訪問やアドバイザーの派遣など、より具体的な施策を展開していく。



県民と自由民主党会派をつなぐ

Link
リンク

2021.8 No.39

ごあいさつ

自由民主党会派 会長 加藤 鉱一

県民のために働く

～コロナに打ち克ち希望ある秋田へ～

日頃より、秋田県議会自民党会派を力強く支えて頂いている、県民の皆様に厚くお礼申し上げます。新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、我が国でも国難といえる深刻な状況が続いている中に於いて、感染拡大防止やワクチン接種のために、ご尽力されております医療従事者をはじめ、全ての関係皆様に深く敬意を表しますとともに、感謝申し上げます。

私たち県議会自民党会派においては、本県沖合で進んでいる洋上風力発電等についても県選出国会議員とともに、若い皆さんが秋田に定住出来るように地域振興や産業活性化に尽力して参ります。

本年の衆議院総選挙は、県民皆様の安心・安全・安定を守るために、わが党の政策や公約を真摯に訴え総力を結集した運動を展開して、勝利を目指して参ります。コロナに打ち克ち誰もが活躍できる秋田づくりに取り組んで参りますので、さらなるご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



アフターコロナの大変革時代を見据えて頑張ろう！

コロナ禍の影響が多方面に及ぶ中、私、鈴木まみの活動に日頃からご支援をいただき心より感謝申し上げます。

さて、秋田県議会では人口減少に伴う議員定数の見直しについて会議を重ね、2023年の次期県議選より議員定数を現行の43から41とする方針を固めました（南秋田郡選挙区「定員1」に変更はありません）。

この決議は地元紙に「県議がどんな活動をしているか分からない」「仕事ぶりや成果をもっと発信してもらいたい」といった県民の声とともに報道され、私自身、ハッと猛省しました。地域の声を県政に反映させる活動に努め、もっと情報発信しなければ!と決意を新たにした次第です。成すべきことは、まだ沢山あります。

7月末現在、新型コロナウイルスは再び感染拡大の様相を呈していますが、収束の日が必ず訪れると信じて防止対策を緩めることなく、アフターコロナに訪れるであろう「大変革時代」を見据え、ともに前へ進みましょう。



秋田県議会議員
鈴木真実

Link
リンク

発行／令和3年8月1日
ご質問、ご意見をお聞かせください。
編集／秋田県議会自由民主党会派 政務調査会
〒010-8570 秋田市山王4丁目1番1号[県議会内]
電話 018-860-2040 FAX 860-2102

県議会産業観光委員会副委員長、自民党秋田県連女性局長に就任

秋田をもっと前へ!



自民党会派が主導し、議員提案により
制定・改正に結びつけた2つの条例をご紹介します



改正 秋田県歯と口腔の健康づくり推進条例 「オーラルフレイル」の予防で「健康寿命日本一」を目指す!!

オーラルフレイルとは「歯や口の働きの衰え」で、老化のはじまりを示すサインとも言われています。オーラルフレイルの症状は、健康な体から要介護の状態になる前の「フレイル期」に現れます。介護を必要としない毎日を長く過ごすためにも、オーラルフレイルの症状にできるだけ早く気づき、予防や改善をしましょう。



自民党会派検討チームの考え方

秋田県歯と口腔の健康づくり推進条例は平成24年10月に施行され、条例に基づき、県民の歯と口腔の健康づくりに関する13の基本的施策が実施されています。

また、本県では平成29年から「健康寿命日本一」を目指し、健康寿命の延伸に向けた取組を県民運動として、オール秋田で推進しており「オーラルフレイル」の予防が重要なカギとなります。そこで、これまでの施策に「オーラルフレイル」の予防、歯科口腔保健に関する人材の確保等を加えることで、**本県の歯と口腔の健康づくりに係る施策をより充実させ、健康寿命の延伸を図る**ため、条例改正案を提出する運びとなりました。

県民の更なる健康増進の意識向上につながるよう期待します。

条例制定までの経緯は
次のとおりです

第1回
自民党会派検討チームによる協議会
R2.9.25

第2回
自民党会派検討チームによる協議会
R2.11.2

第3回
自民党会派検討チームによる協議会
R2.12.4

秋田県歯科医師会との協議会
R2.12.22

県歯科医師会などと意見交換を重ね条例を改正しました



県議会2月議会において審議、可決!
R3.3.5



"秋田県歯と口腔の健康づくり推進条例"の全文はこちらから ➤➤➤



制定 秋田県主要農作物種子条例 食の安全・安心を見据え、次の世代にしっかりと種子を手渡す!!

農業県秋田は複合型生産構造の確立はもとより、需要に応じた米の生産を進め、全国シェアを獲得することが必要であり、その生産の根幹である種子の確保と安定的な供給を目指した「種子条例」の制定は、これから秋田県農業にとって大変意義のあるものと考えます。



自民党会派検討チームの考え方

これまで都道府県は、昭和27年に制定された主要農作物種子法に基づいて、米、麦、大豆の種子生産に取り組んできましたが、多様なニーズに応じた種子生産が行われることなどを理由に、平成30年4月に同法は廃止されています。廃止後、本県では独自に秋田県主要農作物種子基本要綱等を策定し、これまでと同様の生産体制を維持してきたところです。

しかし、農業者や関係団体から、体制や政策の動向に変化があった場合に、現行の運用継続することについて、法的担保がないという不安の声が多く寄せられ将来にわたって、**優良な種子を確保し、安定的に供給していく**ため、新たに条例案を提出する運びとなりました。県はこの条例に基づき、米の主産県としての責務を果たすことを期待します。



秋田県農業の発展を止めてはならない!

条例提案に向けて関係者との説明会や勉強会を重ねました

条例制定までの経緯は
次のとおりです

種子法廃止に基づき
かねてから
農業者や関係団体から
意見や要望を受ける

JA秋田しんせい組合長を
招いた勉強会
R2.6.18

県農林水産部を
招いた勉強会
R2.6.19

第1回 種子条例に
関する検討会(全体会)
及び第1回種子条例検討作業部会
R2.8.25

第5回 種子条例
検討作業部会
R2.11.2

第4回 種子条例
検討作業部会
R2.10.16

第3回 種子条例
検討作業部会
R2.10.8

第2回 種子条例
検討作業部会
R2.9.30

第2回 種子条例に
関する検討会
(全体会)
R2.11.19

県議会2月議会において
審議、可決!
R3.3.5



"秋田県主要農作物種子条例"の全文はこちらから ➤➤➤

私たち秋田県議会自民党会派はこれからも地域の課題解決や、秋田の未来のために声を聞き提案を続けてまいります